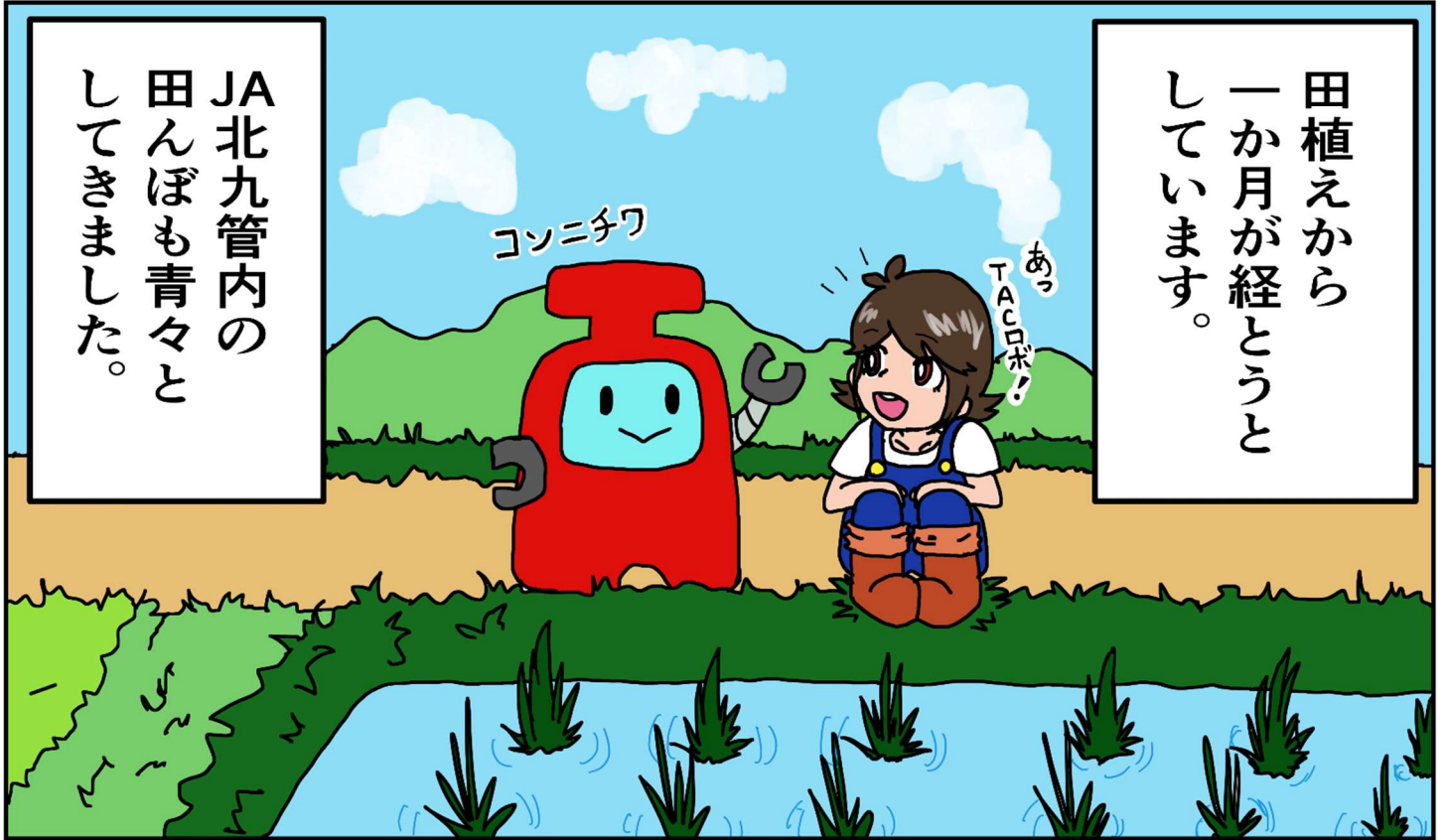


TAC通信

特別号

～イネカメムシ・高温登熟対策をしましょう!～



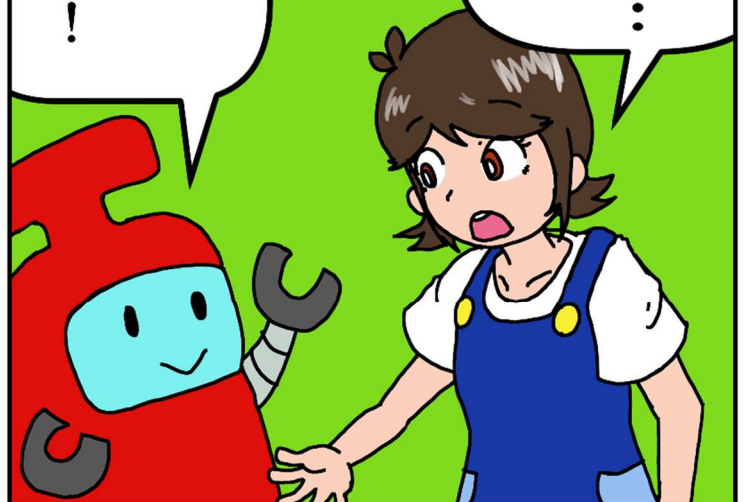
田植えから
一か月が経とうと
しています。

JA北九管内の
田んぼも青々と
してきました。

今年は虫も
多いって聞くし…
ちゃんとお米が
取れるかなあ

しっかり
管理すれば
大丈夫ですよ!

JA北九における、
令和5年産米の
品質・収量の
低下原因は、
主に
イネカメムシ
による不稔
カメムシ
による斑点米、
出穂期後の
高温による
充実不足や
登熟障害でした。



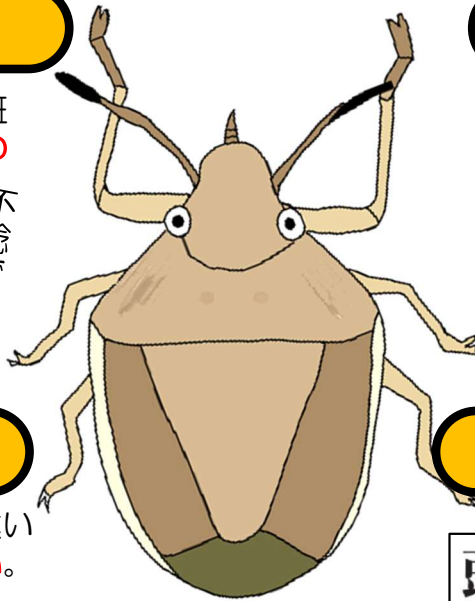
迫る！イネカメムシの恐怖

被害の種類が多様

従来の**品質低下型の被害**（斑点米）だけでなく、**収量型の被害**（不稔）を起こす。



不稔で穂が
傾倒しない！



従来対策では不十分

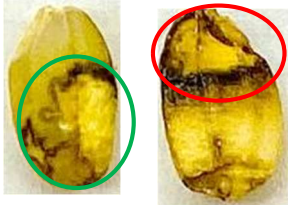
田んぼへの侵入が**他のカメムシよりも早く**、防除時期が異なる。

○イネカメムシ
出穂期から加害

○既存の斑点米カメムシ
穂揃期10日後ごろに加害

選別が困難

加害部位が他のカメムシと違い**色彩選別機での選別が難しい**。



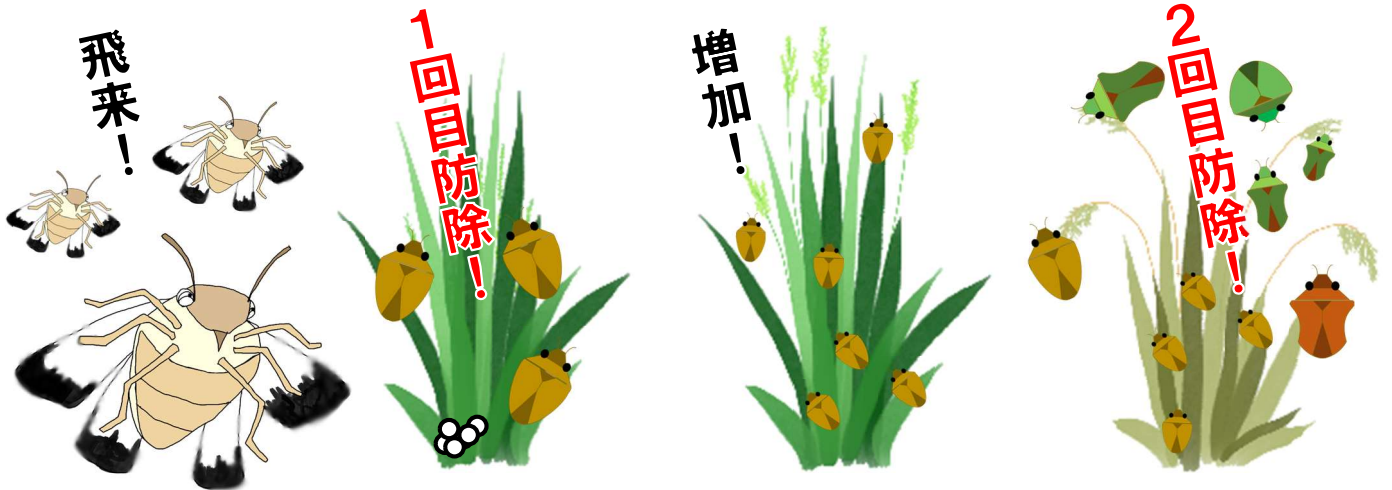
○他カメムシ ○イネカメムシ



実際のおおきさ

全国的に被害急増！

頭垂れぬまま…秋



越冬場所や畔のイネ科雑草からイネカメムシが飛来し産卵する

出穂直前

イネカメムシが幼穂を加害し、不稔を発生させる

出穂期

イネカメムシの卵が孵化

穂揃期

他のカメムシも飛来し一斉に粉を加害し斑点米が発生

穂揃期10日後

イネカメムシの防除には、水稻栽培資料に記載の薬剤を使用しましょう。

酷暑!! 高温登熟障害対策

～暑さに負けない米づくり～

高温登熟障害とは、背白粒や心白粒のことで、等級落ちの原因となります。これらは日中の高温乾燥や、夜間の気温・高水温等により、玄米のデンプン蓄積のメカニズムに障害がおこることで発生します。

高温登熟障害を避ける3つの対策

① 田植え1か月後は中干しを

中干しは過剰な分けつを抑制し、根に酸素を送ることで養分循環効率を高めめます。

また、一度地固めしておくことで、収穫期ぎりぎりまで圃場に水を溜めておける丈夫な土壌が形成でき、機械作業効率も向上します。



② 大切なのは稲の体づくり



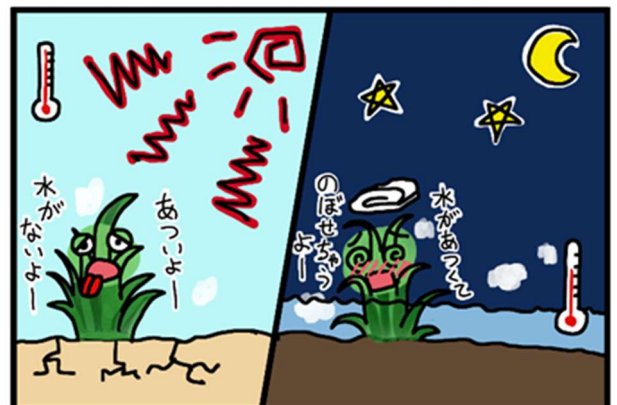
幼穂形成期の追肥を適切に行い、暑さに負けない稲体を育成しましょう。*1

特にケイ酸質の土改材は、稲体が丈夫になる他、光合成効率が高まり収量・品質の向上にも効果的です。

③ 出穂後の水管理

出穂期前後の20日間は最も水が必要。水を切らさないようにしっかり管理しましょう。

また出穂期以降は、温まった水が夜まで圃場に溜まっていると、品質低下原因になります。適宜、水の入替えを行いましょう。*2



*1 一発肥料を使用されている方は、基本的に追肥は不要です。

*2 水不足の際は抱水状態を維持して、圃場が乾燥しないようにしましょう。

作業ごよみ

※田植後日数は目安です

田植後日数	21~30日	31~40日	41~50日	51~60日	61~70日	71~80日	81~90日	91日~収穫
水管理	間断灌水	中干	間断灌水	間断灌水	湛水	間断灌水	間断灌水	落水
生育ステージ	分けつ期		追肥時期 幼穂形成期		いもち・紋枯病防除 出穂期 カメムシ 一回目防除	穂揃期 カメムシ 二回目防除	成熟期	収穫

ポイント・補足

この期間

出穂期前後の20日間は水が最も必要な時期です。圃場から水を切らさないようしっかりと水管理して収量を確保しましょう！

出穂期のイネカメムシ防除はもちろん、出穂前のいもち・紋枯病の防除も大切ですヨ！

中干しで圃場の地固め根の健全化を図りましょう！

また、幼穂形成期の追肥は籾の数にも影響します！葉色も見ながら適期適量の追肥を行いましょう！

今年最新の情報や現地の状況は

各地区の管理講習会で確認しましょう！

詳しくは各地区営農からの講習会案内を見てくださいね！

ところで... 高温障害対策で、夜間の水温は何℃だったなら入れ替えた方がいいの？

追肥はいつ？ どのくらい？ ふつたらいいの？ 散布量の目安は何を基準にした方がいいの？

カメムシの防除にはどんな薬剤を使ったらいいの？

おすすめの薬剤は？ 一反あたりどのくらい散布したらいいの？

今年ウチの田んぼは周り比べてどうか？ 何かやった方がいいことはある？

えーっと... それから...

あも...

各関係機関連絡先

遠賀営農一課
TEL:093-282-5678

若松営農
TEL:093-741-2266

八幡営農
TEL:093-618-0130

西中営農
TEL:093-451-9210

北九州普及指導センター
TEL:093-601-8855

・営農情報
・病害虫情報
・稲作情報、稲作ごよみ
・経済情報
などなど、ホームページなどに掲載している情報をいち早く配信いたします！

JA北九



LINE 公式アカウント